



2010-2011 RI President  
**Klinginsmith Ray**



2010-2011 D.2640 Governor  
**Mariko Yoneda**

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

## Main Contents

RI 会長メッセージ / ガバナーメッセージ

ロータリー世界理解月間によせて  
バスターガバナー 前田 孝道

WCS 活動について  
世界社会奉仕委員会委員長 中野一郎

ベネファクター・米山功労者

インターネット速報

2010-2011

**2**

NO.8

# ロータリーのDNA

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、

このロータリー年度は、私たちの方針、慣習、手続きなどあらゆる面が今の時代に合っているか、改良することができるかに目を向ける革新の文化が特色です。私は多くの分野において、できること、成すべきことを確信していますが、私たちのように古くて大きな組織にとっては、時代に合わせることは驚くべきことではありません。

## 「中核となる価値観」がロータリーのDNA

しかしながら、同時に、私はロータリーの成功にとって大変重要なために、侵すことができないことがあるのも十分理解しています。それらは国際ロータリー(RI)の「長期計画」の中で私たちの中核となる価値観として反映されていますが、私はそれらを私たちのDNAと呼びたいと思います。それらはロータリーをほかの組織と識別する特性です。それらはロータリアンが何者であるか、また、世界中のロータリアンたちが共通して持っているものは何かを示す本質なのです。

RIの「長期計画」の中で名付けられた中核となる価値感には、「親睦」「奉仕」「高潔性」「多様性」「リーダーシップ」の5つです。若い人々は私たちが伝統的に使う「親睦」という言葉よりも「ネットワーキング」という言葉を使うのを好むようですが、私にとっては同じことです。どちらの言葉も、協力してプロジェクトを実施したり、ロータリーの会員であることをかけがえのないものにしたりして、私たちのクラブにおける友情が持続するよう導きます。友情は明らかにロータリーのDNAにとって最も大切な要素なのです。

## 数多くの誇るべきもの

ロータリアンは時代に合わせるという現行の強調事項が私たちの中核となる価値感を損なうのではなからうか、などと心配すべきではありません。それは「売り物でないものもあるこ

とを知っておけ」とか「どこに線引きをするかを知れ」といった警告を含んだ「Cowboy logic」(注、2010年12月号RI会長メッセージ参照)とは矛盾するものかもしれません。ロータリーを一流の組織にした価値観や姿勢を変える気はないということ、私はロータリアンたちに保証したいと思います。ロータリーを世界のひのき舞台に押し上げたものの一つがポリオ・プラスです。

私たちはロータリアンとして誇るべきものを数多くもっています。今は私たちにとって至福の時であり、そして私たちのクラブがより大きく、より良く、より豊かになるよう力を貸せば、私たちの最良の日々はこれから先にあるのです。私たちの5つの中核となるべき価値観に沿って進むことで、持続的な発展はロータリーのDNAが世の中に知られるもう一つの部分となるのです。



レイ・クリンギンズミス  
2010-2011年度 国際ロータリー会長





2010-2011年度 ガバナー

米田 真理子

Mariko Yoneda

## GOVERNOR MESSAGE

# ロータリーは決して順調な発展を遂げたわけではない 何回となく大きな危機を 乗り越えて現在に至った

米田年度も下半期のうち、あっという間に1ヶ月が過ぎました。

クラブ会長クラブ幹事の皆様は次年度のクラブ理事・役員の皆様が決まられてほっとされておられると存じます。昨年とはちょうど新年1月の後半を、米国サンディエゴの国際協議会で過ごしておりました。今から思えば懐かしい思い出です。同期のガバナーの皆さんとは未だに交流が続き、生涯仲良く理解しあって、お付き合いしていくことと存じます。出発前の秋に骨折した夫の代替に、長女が配偶者の代理の資格をRI会長レイ・クリンギンスミス氏から了解を得るのに時間がかかったことを思い出します。1年に亘り配偶者代替としての役割を宣言する署名をした思い出も、今は遠くなりました。RIは経費の使道の合理化が厳しく、地区財務も見習う必要

が在る、意義のない出費は控えること、等々教えられました。

2月は「世界理解月間」であり、又23日から29日は「世界理解と平和週間」さらに2月23日は「ロータリー創立記念日」と「世界理解と平和の日」であります。1905年2月23日初会合により興ったロータリー運動の歴史から思えば、2月にこれらの記念日が集中して指定されたのは、必然と思われる。

さて、人間の心の機能は瞬時にして世界を駆け巡る力を持っています。この故にこそ、帝王学の原則があるのであって、世の良質な指導的職業人をもって任じるロータリアンたちの、常に心しなければならぬことでありましょう。

原理は心の機能の一つであります。それは心の働きに乗り、地球を、世界を何度も駆け巡ることができるのであります。

ロータリー運動が世界社会奉仕の発想を持つ理由でもあります。

しかし、わたしたちの行動は五体の物理的支配を受けます。わたしたちの心はアフリカの飢餓に苦しむ人々のところへ飛んでいます。

しかし社会的責務を考えると、自分の身は会社の日常業務、各自の職業のルーチンワークに忙殺されて、実践の課題の解決はわれわれの五体からすれば、きわめて限定的なことしか行うことが出来ないのです。低次元なことしか行うことが出来ないのです。この現実直面して心を捨て、理想を捨て、深層心理を捨て、体験と感覚のみを頼りに生活を規律しようとする傾向が昨今見られます。

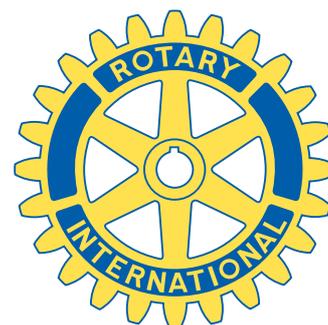
感覚は心の中で減少を捕まえることが本質になり、一番浮動性の強いものであります。

感情を中心に捕らえる時は、絶えず変化して留まることを知りません。詩人ゲーテは言いました。「感覚は間違えないが、思考は間違える。」と。このことは感覚を中心に物事を考えることが必要で、思考が誤りを犯すことを警告しているのであります。

このようにして人は感覚を中心におき、減少のみを追いはじめると、ひとつの減少に執着しては飽き、現象から減少へ追い求め、留まることを知らないのであります。

ロータリー年度も後半に入り、地区行事は順調にそれぞれ感動的な場面を終えて、功績を残し進んでまいりました。今後とも地区運営にご協力をお願い申し上げたいと存じます。

国際ロータリー第2640地区クラブ皆様の将来を何よりも最優先に考えているところです。





# ロータリー世界理解月間によせて

国際ロータリー第2640地区  
パストガバナー 前田孝道

世界には様々な国があり、それぞれ人種・言語・環境・歴史・利害を異にし、それらが原因で様々な紛争や悲惨な戦争がこれまで度々起こって参りました。これを防ぐためには何をおいても、世界各国が親交を深めることによって相互の理解と親善を計ることが第一です。

ロータリーの国際奉仕の目標は、綱領の第四に「奉仕の理想に結ばれた事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」ことにある（RI定款第4条、標準クラブ定款第4条、第5条）とあり、自由、正義、真実、宣誓の神聖、人権の尊重は、ロータリーの原則に本来備わっているものである。またそれは国際平和と秩序の維持及び人類の発展に不可欠なものである。（ロータリー章典8,050,1,）と述べられています。

当地区が2009-2010年度に世界社会奉仕委員会 中島PDGカウンセラー、並びに中野一郎地区委員長のご指導の下に、村上ガバナー年度に実施された世界社会奉仕委員会の活動報告を拝見しますと、世界の人々が生活してゆく上で最低限のニーズである水問題、飢餓及び貧困、保険問題、教育（識字率の向上）その他人道的プログラムをテーマに掲げ、地区内多くのクラブがWCS等の活動を展開されており、村上ガバナーご夫妻、中野委員長を始め地区ロータリアンの多くが、遠くインドその他の現地に足を運ばれるなど、実に涙ぐましい努力と心のこもった奉仕活動が行われていることが判ります。

更に去る2010年11月の「国際ロータリー第2640地区2009~2010年度 地区のまとめ」49ページ以降に表示されているWCS事業一覧表には6ページに渡って地区内各クラブの関連事業・インドネシア3400地区海外視察報告・WCS海外視察参加メンバーのリスト等が紹介されています。

2009~2010年度 世界社会奉仕委員会 中島PDGカウンセラー・世界社会奉仕委員会 中野一郎地区委員長・地区村上ガバナーに甚々の敬意を表しますと共に、「ロータリー世界理解月間」に当り当地区にとって、この良き伝統が今後も継承されてまいりますことを、心から願うものです。



## WCS活動について

国際ロータリー第2640地区  
世界社会奉仕委員会  
委員長 中野 一郎

平素は当地区委員会に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ロータリーは世界理解と親善を推進するために様々な活動を展開しております。

奉仕の第4部門である国際奉仕活動はまさにその核心を反映するものであり、参加することにより皆様に大きな充実感をもたらします。

国際奉仕活動の1つに世界社会奉仕(WCS)があり、世界中の恵まれない人々、地域に対し人道的支援を展開しております。

ロータリー章典によりますと、世界理解週間にWCSに関するプログラムを実施することが推奨されており、どのクラブも出来る限り週単位のクラブプログラムをWCSに捧げるよう呼びかけております。

当地区では地区内会員様に世界理解と平和親善、活動の意義に更なる理解を賜りたく今年度に於きましては世界理解週間にあわせて「2640地区WCS海外視察」を予定し2月24日よりフィリピン共和国へと赴きます。地区レベルでのこの視察については私が当委員会をお手伝いするようになりました5年前から企画されWCS活動を理解して頂くには良い機会ではないかと考えております。「百聞は一見に如かず」効果的なWCSプログラムとは、実際に現地へと赴き、地域の実情や人々のニーズを把握し

プロジェクトを構築することが大切であると考えからです。

1962年にアジアから初めてのRI会長であるニッティシ・ラハリー氏(インド)が提唱されたWCS活動の原点は、農業、工業、医療、教育などの専門技術と経験を有するロータリアン

がチームとなり開発途上国へと赴き専門技能を共有するというプロジェクトでありました。

マンパワーのみではなかなか効果の上がりにくいこの活動に1967年より資金的支援も含めることによりRIの常設プログラムとなり、様々な活動が展開されるようになりました。

しかしただ単にお金を送ったり、物資を提供する行為のみではWCS活動の本来の目的とする困難を解消する有効的手段である自立支援、自活自助には繋がりにくい訳であり、やはり大事なのはロータリアン自身の人的関わりと、恩恵を受ける人々の事業参加だと思えます。

当地区委員会におきましては本年度の強調事項として水とその衛生問題、飢餓貧困問題、基本的教育と識字率向上、保健問題という人間が生活していくうえでの必要最低限にニーズに焦点をあわせ各クラブへの活動参加をお願いしています。又、クラブの自主性を考えクラブ主導型のWCS活動を推奨しております。地区主導でのプロジェクトでは会員皆様の意識の向上が図りにくく、又クラブとしてはただ単にお金を捻出してそれで終わりという結果になりがちだと考えるからです。奉仕活動をクラブの活性化のツールと考えるならば、会員皆様の直接参加によるクラブ主導型のWCSが望ましく、資金的に困難な場合にはIM内での連携や近隣クラブとの合同事業という方法もあり結果としてIM内の活性化に繋がり、クラブ間の交流もより緊密なものになる事と思えます。

本年度の地区キーワードである「友愛の心」を育むには行動が必要であり、ロータリアンの行動とは奉仕活動の実践にあります。特に国際奉仕は日本から海外へと友情の架け橋をつなぐプロジェクトであり実践することにより“世界理解、親善、平和を推進する”という我々ロータリアンに課せられた使命を果たすには最も効果的なプログラムだと考えられます。

世界中に起こっている困難に対し我々がお手伝い出来るプロジェクトは無数にあります。

是非ともクラブにて、語り合いそして困難を理解し活動の計画や実践するという意義ある月間として頂ければ幸いです。



フィリピン・セブ島 貧民街の子供たち



インドネシア海外視察・水槽タンク前にて



**中瀬 実那子**

なかせ みなこ

所属クラブ： 海南西  
職業分類： 飲食業  
生年月日： 1960年6月15日



**谷口 俊博**

たにくち としひろ

所属クラブ： 岸和田南  
職業分類： 自動車小売  
生年月日： 1955年12月24日



**荒川 和雅**

あらかわ かずまさ

所属クラブ： 松原中  
職業分類： 建築設計・測量登記  
生年月日： 1957年4月22日



**道野 義広**

みちの よしひろ

所属クラブ： 松原中  
職業分類： 清掃業  
生年月日： 1958年2月28日



**尾鷲 俊和**

おわし としかず

所属クラブ： 那智勝浦  
職業分類： 薬局  
生年月日： 1969年5月25日



**古川 英宏**

ふるかわ ひでひろ

所属クラブ： 高石  
職業分類： 特別養護老人ホーム  
生年月日： 1968年3月17日



**辰巳 泰啓**

たつみ やすひろ

所属クラブ： 富田林  
職業分類： 自動車整備  
生年月日： 1975年4月14日



**大槻 哲也**

おおつき てつや

所属クラブ： 富田林  
職業分類： 弁護士  
生年月日： 1968年7月22日



**後 亮**

うしろ りょう

所属クラブ： 和歌山東  
職業分類： 弁護士  
生年月日： 1972年4月13日



**曾和 勝彦**

そわ かつひこ

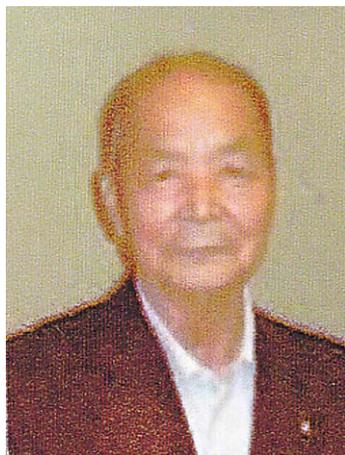
所属クラブ： 和歌山城南  
職業分類： 住宅販売  
生年月日： 1962年4月18日



**仲峯 豊**

なかみね ゆたか

所属クラブ： 堺フラワー  
職業分類： 医療コンサルタント  
生年月日： 1956年6月10日



**石香 亨 様**  
(太子RC)

2010年12月18日 死去

在籍期間：19年9ヶ月  
職業分類：宗教〈仏教〉

ポールハリスフェロー：マルチプル(3)

1924年12月24日生



**藤原 周祐 様**  
(岸和田南RC)

2010年12月31日 死去

在籍期間：11年  
職業分類：警備保障

ポールハリスフェロー：ポールハリスフェロー  
米山功労者：米山功労者（1）

1946年11月30日生



氏名	回数	クラブ名
児島 誠一	5	有田南
久志本 東	3	藤井寺しゅら
市口 廣文	1	羽曳野
中西 栄市	BE	橋本
向井 弘治	F	橋本
中谷 英昭	F	橋本
田中 寛司	F	橋本
田中 崇喜	F	橋本
谷口 善志郎	4	橋本
安川 忠治	3	橋本
岡 正孝	3	岩出
遠 俊一郎	2	和泉
辻川 佳明	2	和泉
須藤 実	1	和泉
小野林 治三夫	F	和泉
浅井 義一	F	和泉
山本 成男	F	和泉
浅野 恭行	F	和泉
山岸 彌平	1	泉佐野
井原 輝久	2	泉佐野
佐藤 憲成	2	泉佐野
南 揚道	3	泉佐野
向井 宇佐雄	F	泉佐野
岡本 慶一	1	海南
重根 豊	4	海南
山西 徹治	1	海南
門脇 孝文	BE	海南
石田 侃	1	海南西
神出 勝治	1	海南西
佐納 世志子	BE	貝塚
佐納 世志子	2	貝塚

氏名	回数	クラブ名
奥田 稔	4	貝塚
竹本 欣司	1	貝塚
山口 昭治	F	貝塚
小川 千恵	BE2	貝塚コスモス
山崎 規男	BE	河内長野
井戸 清明	1	河内長野
片山 雅一	F	河内長野
西端 弘明	4	河内長野
山崎 一弘	F	河内長野
大石 武徳	6	岸和田東
加藤 寿昭	6	岸和田東
坂本 道子	2	岸和田東
谷口 徹	4	岸和田東
中井 義尚	18	岸和田東
畑田 率達	4	岸和田東
坂東 桂子	3	岸和田東
平瀬 有里	2	岸和田東
藤井 秀香	2	岸和田東
柰保 正夫	4	岸和田東
後藤 太一	F	岸和田南
矢倉 甚兵衛	BE16	串本
畑崎 篤	4	堺
広瀬 幸次郎	3	堺
生駒 周三	1	堺
佐々木 一頼	4	堺
陶 貞光	2	堺
森 恭一	F	堺泉ヶ丘
安川 信弘	F	堺泉ヶ丘
西村 元秀	4	堺泉ヶ丘
木村 隆男	1	堺中
貞吉 興道	3	堺おおいずみ

## PHF・ベネファクター(12月分)



氏名	回数	クラブ名
武田 耕道	2	堺東南
河中 晋一	BE	泉南
河中 晋一	2	泉南
戎野 博太郎	2	泉南
片木 哲男	2	泉南
北浦 信	2	泉南
松下 光春	4	泉南
奥井 旭	4	泉南
殿谷 忠正	3	泉南
角谷 浩二	2	泉南
山本 昇三	3	泉南
藤田 茂信	4	高石
淡野 勝也	2	高石
池尾 平治	1	高石
嶋田 充伸	1	高石
松井 哲治	1	高石

氏名	回数	クラブ名
古川 敏夫	1	高師浜
佐伯 光	1	高師浜
河合 良	F	高師浜
横田 達夫	F	田辺
安藤 元二	1	和歌山
知念 章雄	1	和歌山
石井 博	F	和歌山
加藤 彰宏	1	和歌山
木谷 聡一	2	和歌山
島村 安彦	2	和歌山
井関 力太郎	3	和歌山北
坂口 寛亘	2	和歌山南
辻本 圭三	BE	和歌山東南
辻本 圭三	1	和歌山東南
神谷 尚孝	20	和歌山東南
豊澤 たつみ	F	和歌山サンライズ*

## PHF・ベネファクター(11月分)



氏名	回数	クラブ名
細川 明伸	F	泉大津

## 米山功労者(12月分)



氏名	回数	クラブ名
中屋 敦夫	7	貝塚コスモス
澤田 秀男	2	貝塚コスモス
川崎 博司	2	関西国際空港
辻 秀和	4	河内長野
坂東 桂子	5	岸和田東
加藤 寿昭	10	岸和田東
宮本 治子	5	岸和田東
中井 義尚	15	岸和田東
岡部 長禮	2	岸和田東
大河内 忠継	2	岸和田東
岡本 平仁	2	岸和田東
和田 史子	2	岸和田東
山元 芳裕	2	岸和田東
谷川 泉	11	岸和田東
小山 潤二	3	岸和田北
藤原 周祐	2	岸和田南
後藤 太一	1	岸和田南
中川 公彦	2	りんくう泉佐野
黒川 眞男	2	堺
木村 隆男	2	堺中

氏名	回数	クラブ名
関口 承一	1	堺中
藤田 茂信	5	高石
坂本 好司	4	高石
吉本 和子	3	高石
山本 博章	2	田辺
加藤 彰宏	2	和歌山
樫畑 直尚	2	和歌山
木谷 聡一	3	和歌山
保井 彰友	2	和歌山
新井 勝一	1	和歌山北
生駒 喜一	1	和歌山北
小弓場 弘文	1	和歌山北
篠木 豊	1	和歌山北
田中 重之	1	和歌山北
川上 清毅	6	和歌山北
岡田 将生	16	和歌山北
田中 弘	4	和歌山北
岡田 一三	4	和歌山南
畠 俊介	11	和歌山中
神谷 尚孝	14	和歌山東南

2月号、お届けいたします。

俳壇・柳壇、共に我が地区からの採用が多くございます。

地区クラブメンバーの豊かな感性、自然を感じる心に身を躍らせながら、友紹介をさせていただいております。

ロータリーの友 編集委員会 地区代表委員 京谷 知明

## 地区関連の記事

① 俳壇——縦組み P13

朝早く娘と妻と落葉掃く (和歌山RC 島村 安彦)

吊り橋を冬立つ風と渡りけり (御坊RC 野村 浚一)

③ 柳壇—— 縦組み P13

サンマにも言い分あって近寄らず (堺RC 佐々木一頼)

④ バナー自慢

泉佐野RC —— 縦組み P17

⑤ ロータリー アットワーク

バナーは例会場に —— 和歌山アゼリアRC 縦組み P32

## 横組み記事

### ① RI会長メッセージ ロータリーのDNA RI会長 レイ・クリングスミス P1

クリングスミスRI会長は、「ロータリーの方針、慣習、手続きなどあらゆる面が時代に合っているか、改良することができるかに目を向ける革新の文化」が今年度の特色だと述べています。それと同時に侵すことのできない分野もあるとして、(RI)の「長期計画」の中に、私たちの中核となる価値観として反映されているものを、「ロータリーのDNA」と呼びたい、としています。

### ② 特集 ロータリー理解推進月間 海外クラブの例会に出席しました! P5~12

今月は世界理解月間です。月間にちなみ、海外で例会に出席したときの体験談をうかがいました。

食事は? 服装は? 例会時間は?

海外のクラブの例会とは、どのようなものでしょうか。

### ③ 「ロータリーの綱領」の和訳について P26~27

ガバナー協議会・綱領等翻訳問題調査研究小委員会 鳥居 滋

「ロータリーの綱領」の和訳について、「綱領」をもっとわかりやすくするための調査・研究が不可欠では——アンケートを実施、検討を重ねたご報告です。

## 縦組み記事

### ① 有田の伝統を語る P2~6

第十四代 酒井田柿右衛門 聞き手・NHKアナウンサー 渡邊あゆみ

美しいというのは、素顔といいますか、そのままといいますか、日本人だけが持ち合わせている美意識とさえいわかっていただけますでしょうか。素顔が出てくる作品を残したいと思っています。

### ② この人、この仕事

漬物文化を守る老舗の九代目 P7~9

(株)河村屋社長 染谷庄一郎 大宮北ロータリークラブ

文・宮本 貢 写真・水越 孝

8月号からスタートした新コーナーです。クラブを紹介してきた「手に手」に替わり、職業を通じて会員個人を紹介します。今回は大宮北ロータリークラブの染谷庄一郎会員です。

### ② 卓話の泉 P10~11

IFRS導入と影響

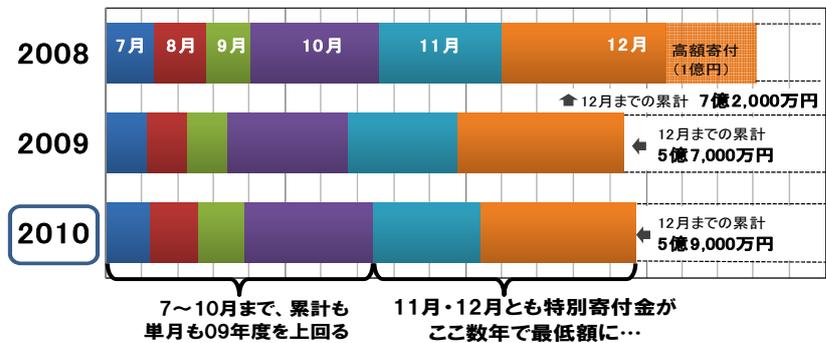
例会での卓話を要約して掲載しています。この欄は、各クラブからロータリーの友事務所に定期的にお送りくださった会報・週報から、一般的に豆知識として活用いただけるような卓話を選び掲載しています。

# ハイライトよねやま 131

## 1 寄付金速報 — 2011年もよろしく願います! —

12月までの寄付金は前年同期と比べて1.7%増、約1,370万円の増加となりました。普通寄付金が0.3%減、特別寄付金が2.5%増と、特別寄付金は増加のまま推移していますが、12月単月で比較すると、特別寄付金は直近5年の間で一番低い数字となりました。

特別寄付金の月別推移【7～12月】



なお、昨年末、「2010年度普通寄付金のお願い」を全クラブ宛にお送りしています。普通寄付金は当会事業の安定財源となる大切なご寄付です。毎年金額が変動する特別寄付金だけでは、公益事業の安定的・継続的な財源とはなりません。ぜひ当会の事業内容をご理解の上、普通寄付金のご送金もよろしく願い申し上げます。

## 2 台湾学友会総会報告 — 広がる日本人支援の輪 —

台湾米山学友会((社)中華民國扶輪米山会)の年次大会が12月11日、台北市内で開かれました。台湾学友会は1983年結成と最も古い米山学友会であり、2002年には台湾で社団法人の資格を取得。現在、第5代理事長を務める許國文さん(2005-06年度第3490地区ガバナー)のリーダーシップのもと、日本との交流や奉仕活動を活発に行っています。

今回の総会では、ポリオによる肢体不自由のハンディキャップを背負いながら、発明家として成功を収めた劉大潭氏による感動的な講演が行われました。また、恒例の新入会員紹介のほか、台湾学友会が実施する日本人若手研究者支援奨学金の第1期生、山下世莉さんと、第2期生の笹川優子さんが登壇して、支援に対する感謝を述べました。学友会では、今年募集する第3期生から2名に増やす予定とのことでした。

同日には、昨年発足した台湾のSY-A奨学金学友会の総会も開かれました。海外学友会推薦奨学金(旧SY-A奨学金)を受けて台湾に帰国した元奨学生によって構成される同学友会からは、「ワーキングホリデーで来台する日本の若者を支援する独自の奉仕活動を始めた」との嬉しいニュースが報告されました。1年間、学友が支援対象の若者のカウンセラーとなってホームス



テイで住居を提供するほか、仕事を探す手伝いや、文化体験や交流の機会を設けて、日台親善交流の促進を図る制度で、すでに1名の日本人青年が支援を受けて、台湾での生活をスタートさせました。

台湾の学友たちの深い感謝の気持ちを反映して、日本人支援のプログラムは広がりを見せつつあります。

### 3 韓国学友会のホームページができました

韓国学友会（会長：柳京子氏）の公式ホームページが開設されました。

昨年5月の総会から実質的な再スタートを切った韓国学友会では、8つの支部を設置したほか、職務ごとに理事をおくなど、堅固な組織づくりに努めています。今回開設したホームページでは、理事会やイベントの告知や報告、会員同士が交流を図る掲示板などが用意されています。ほとんどが韓国語で書かれていますが、「ABOUT US」の会長挨拶や役員名簿、「COMMUNITY > NEWSLETTER」にある写真など、ぜひ一度ご覧ください。



韓国学友会ホームページはこちら → <http://rotary-yoneyama.kr/>

### 4 第2650地区米山学友会が財団学友会と合同交流会

第2650地区（滋賀・京都・奈良・福井）米山学友会では初の試みとして、同地区財団学友会との合同交流会を企画。12月26日、京都大学・百周年時計台記念館を会場に、同地区の栗田幸雄ガバナーのほか、行政や大学の要職者らを来賓に迎えて、学友やロータリアン、一般留学生など約120名が集まり盛大に開催されました。

学友による歌や演奏、ダンスの披露で和やかに会が進む中、書道家として活躍する米山学友の張莉さん（中国 / 2003-05 / 京都洛北RC）がロータリーへの感謝の言葉を筆でしたためるパフォーマンスを披露。『恩澤永念』（“恩に報いる気持ちを生涯忘れない”の意味）の書は栗田ガバナーに、『飲水思源』（“物事の基本を忘れず、世話になった人の恩を忘れてはならない”の意味）の書は当会の坂下事務局長にそれぞれ贈呈されました。



最後は、両学友会メンバーが「We are the World」を歌い、会を締めくくりました。第2650地区米山学友会会長の周璋生さん（中国 / 1993-95 / 京都洛中RC）は、「感謝」と「交流」をキーワードに初めて開催した米山・財団両学友会の合同交流会ですが、第2650地区の全面的なご協力のおかげで成功裏に終わらせることができ、感無量です。来年以降もより大きく交流の輪を広げられるよう続けていきたい」と、語りました。

### 確定申告用領収証 ～1月末日までにクラブへお届けします～

昨年1年間（1～12月）で2,000円以上の特別寄付をされた方には、1月末日までに（確定申告に間に合うように）認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。

平成22年度税制改正により、5,000円 2,000円となりました

今年もよろしく  
お願いします!



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 地区大会記念誌より

- ◎「RI会長代理挨拶・RI現況報告」 ビチャイ・ラタクル 2010 7p (D.2660)
- ◎「“THE POWER OF ONE”のいわれ」 渡辺好政 2010 3p (D.2500)
- ◎「クラブを活性化し、未来への夢を持つ! (RI長期計画とクラブ活性化)」  
南園義一 2010 22p (D.2780)
- ◎「水・保健と飢餓・識字率向上の青森県版を作ろう」 黒田正宏 2010 6p (D.2830)
- ◎「ロータリーの目指すもの」 藤川享胤 [2010] 9p (D.2550)
- ◎「地区リーダーの皆様へ」 山本茂生 2010 5p (D.2690)
- ◎「中国の教育現場でロータリーの精神を」 金美林 2010 5p (D.2640)
- ◎「日韓によせるロータリーの希(ねが)い」 崔相龍 2010 5p (D.2780)

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時

休館=土・日・祝祭日

## 2011年 国際協議会 開会本会議



「私たちは、この地球上の人々に、希望と尊厳と自信をもたらす上で、住むところを与えなければなりません。住むところは、家庭の始まる場所です。そこには、母親と子どもたちが住んでいます。そして、地域社会は、家庭によって築き上げられるものです。家族が同居することによって、生活を共にし、リソースを共にして、共通の目的にたどり着くことができます。いい家庭があるからこそ、いい街ができ、そこで地域

社会がいいものになって、国がよくなります。ですから、第1の強調事項として、私は家族を提示します。そこから私たちは、安全な飲み水、衛生設備、保健に目を向けることになります。これらはすべて母親が子どもに対する影響をもたらすものです。世界に平和をもたらすためには、家庭から始めなければいけません。



2番目の強調事項は、私たちが今までしてきたことで、非常に長けたことをさらに続けるということです。例えば、安全、浄水、識字率の向上、新世代に対する活動を通して、未来のリーダーシップを築き上げることができるのです。ポリオの撲滅にも専心しなければなりません。このようなことをするために、私たちは引き続き長期計画を拡大しなければなりません。そして、次のレベルに高めることが必要となります。また、ロータリー財団の未来の夢を支援しなければなりません。発展によってこそ繁栄があり、繁栄があってこそ平和につながるのです。地域を育む活動を続けなければなりません。それによって、私たちはクラブや地区でいろいろなことができるのです。私たちはいつも偉業ができるわけではありませんが、小さなことでも心を込めてやれば、素晴らしいことを達成することができるのです。私は現実的な理想主義者です。私は、ロータリーの奉仕を通して、理想を達成することを重んじています。倫理感、誠実さ、四つのテストを通して私たちは、親睦と友情を築き上げることができ、人間としての価値を見いだすことができます。ロータ

リーは非凡な組織です。ですから、私たちはもっと高いところから世界を向上させなければなりません。

まず自分の内を見つめてください。そしてそこから自信をもって、自分の目標に向かって行ってください。自分の内部にある力を発見して、その力を引き出して、迷わず、ひるむことなく、博愛で人類を包んでください」。

ここで新年度のテーマ「Reach within to Embrace Humanity 心の中を見つめよう 博愛を広げるために」が発表されました。そして、「世界中の明かりを集めても、私たちの心の内にひそむ光には及びません。ですから、愛と献身の灯が心を照らし理解の光によって英知をいただき、調和の灯が皆さまの家庭を照らすように、奉仕の明かりが絶え間なく輝くように願っています」。

最後にトルストイの『戦争と平和』の一節を紹介して、「平和と戦争は、ロータリーでも多々語られています。私たちロータリアンとして、まさに皆さまの感情、ほかの人の中の感情、その人の感情、そして、私の感情にあるものこそ、ロータリーではないかということです。『こころの中を見つめよう 博愛を広げるために』このテーマを心に置いて、皆さまがこれから願っていることにまっしぐらに突き進んでいただきたいと思います」と結びました。



## 2011年 国際協議会 第2回本会議



第2回本会議では、国際協議会モデレーター夫妻、モデレーター補佐夫妻、セミナーの研修者夫妻、研修リーダー夫妻、そして会場監督の紹介があった後、パストガバナーのアデリア・ヴィアス氏が「強い絆を築き、地域を育む」と題して、ポルトガル語で講演をしました。

彼女は、ブラジルで生まれイタリア系の両親によって育てられた自分の子どものころの家族のことを紹介しました。父親と祖母の複雑な関係から何を学ぶかを母から教えられたことを述べました。そして、「会長エレクトは、家族をしっかりと築くことの大切さを訴えていらっしゃいます。家族とは、自分たちの家族だけではなく、ロータリーの家族、または世界中の地域社会で仲間や同朋からなる家族も意味します。ロータリアンは、家族の一員としての役割を見つめる必要があります。ブラウン元RI会長は、『ロータリアンが世界の子どもたちに手を差し伸べることは、世界の家族に手を差し伸べることと同じです。家族はすべての社会の基本ですから、家族の絆を深めれば地域が強くなり、究極的には世界が良くなるのです』とおっしゃいました。地域社会の人々にとって、水、衛生設備、保健、教育、職業訓練、仕事といった世界の基本が満たされなければ、暴力、麻薬、売春をはじめとする、現代社会の問題に、打ち勝つことはできないでしょう。クラブと地域社会を切り離して考えることはできないのです。国際協定によるものと違い、ロータリーが考える世界平和の原点は、地域社会の問題を見つけるという、ロータリアンの力です。その地域のビジネスや専門職のロータリアンは、解決策を見つけ、人々の意識を喚起させて行動を促し、問題を解決することができる立場にあります。ロータリアンは、ロータリー歴の長い短いにかかわらず、まず地域社会という小さな単位から活動を始めるのです」と述べました。そして、「世界のロータリークラブが力を合わせてこそ、約34,000を超える地域社会にいきわたり、実践されるのです」と続けました。

そして、活動の事例を紹介し、「今日、安心感と子育てに自信をもった母親たちは仕事と家族の面倒を両立できるようになりました。社会の中心は家族です。経済的、社会的問題がある地域では、母親たちは同じような苦勞を抱えています。社会の問題を認識し、より良い社会を目指して現状を打破していくことによってのみ、平和を実現することができるのです。自らの限界を超えて、より良い世界をつくっていけるかは、すべて私たちにかかっています」と結びました。

そして、活動の事例を紹介し、「今日、安心感と子育てに自信をもった母親たちは仕事と家族の面倒を両立できるようになりました。社会の中心は家族です。経済的、社会的問題がある地域では、母親たちは同じような苦勞を抱えています。社会の問題を認識し、より良い社会を目指して現状を打破していくことによってのみ、平和を実現することができるのです。自らの限界を超えて、より良い世界をつくっていけるかは、すべて私たちにかかっています」と結びました。



次に、レイ・クリンギンスミスRI会長は、「博愛を広げるために大陸をつなぐ」と題して講演をしました。クリンギンスミス会長は、ノースウエスタン大学のロータリーについての調査結果で、「ロータリーはみんなに友情をつくることができ、そして、プロフェッショナルな面でも卓越でき、世界市民になるような組織である」との結論を出したことを紹介しました。青少年交換の意義について紹介し、また、ロータリアンにポリオの全国予防接種日に参加するよう呼びかけました。「個人の友情も重要視しなければなりません。これは、国際奉仕の一つの要因となっています」と述べました。「私たちのテーマは、手にぴったりとはまる手袋のようなものです。私たちは、ロータリアンであることがとてもラッキーだと思います。ノースウエスタン大学の学生たちが言ったように、私たちのロータリーの本質は何かと考えました。ロータリーは地域の人々の生活を改

善したいという情熱を社会に役立つ活動に注いでいる献身的な人々の世界的ネットワークだということです。皆さまがしなければならぬのは、ロータリーがこれからもこのような期待感に応えることができるかどうかということです。皆さまの地区は必ず達成できると思います。そして私たちの組織は、さらに良くなるでしょう。これからも大陸をつないで博愛を広げることがあれば、そして、それによって世界がもっと良くなれば、平和な日は来ると思います」と結びました。



## 2011年 国際協議会 第3回本会議



第2回本会議のテーマはロータリー財団。ロータリー財団管理委員夫妻の紹介の後、ロータリー財団管理委員長エレクトのウィリアム・ボイド氏が、「財団に対する誇りを持つ」というテーマで話をしました。ボイド氏は、ナイジェリアの女子中学校に水道を引いた事例など、ロータリー財団が人々に違いをもたらした事例を紹介しました。そして「未来の夢計画が最近始まりましたが、ロータリー財団が焦点の定まらない活動をしていたら、このような機会は一度限りで終わってしまうでしょう。多くの人々の生活をより良くしていくには、私たちはこうした機会を発展させていく必要があります。6つの重点分野を定めなければならないと私たちが考えたのは、まさにこのためです。これらの分野は、ロータリアンが関心を抱くプロジェクトを含むだけの、十分な幅をもっています。ただし、こうしたプロジェクトは、ある程度の共通の目的意識をもちながら、できるだけ多くの人々に恩恵をもたらすような大規模なものとなります。6つの重点分野は次の通りです。『平和と紛争予防／紛争解決』『疾病予防と治療』『水と衛生設備』『母子の健康』『基本的教育と識字率向上』『経済と地域社会の発展』これらの重点分野は、互いに重なりあっています。水道が使えるようになったウムオチャム女子中学校の生徒たちは、より良い教育が受けられるようになりました。あるユネスコのプロジェクトでは、女子に初等教育の機会を与えるだけで、幼児の死亡率が5～10%下がるということが分かっています。また、世界銀行によると、中学校に通う女子が多ければ多いほど、その国の一人あたりの所得の伸び率は高くなるそうです。一つの主要な問題に取り組むことにより、ほかの問題にも良い影響があるというパターンが、これでお分かりいただけると思います。波及効果はどんどん広がっていくのです」と話しました。



そして、「ロータリアンである私たちは、この状況にどう対応できるでしょうか。未来の夢計画を通じて、私たちは、6つの重点分野に該当するプロジェクトを立案し、持っているリソースから最大限の結果を引き出そうとしています。これは、私たちの財団、私たちの資金なので、最善の形で生かさなくてはなりません。財団はいわば、私たちの奉仕の工具箱にある、大切な道具なのです」と、ロータリー財団について述べました。

さらに、財団管理委員長エレクトとして次年度のロータリー財団の目標を「ポリオの撲滅」「財団への支援を増やすこと」「未来の夢計画を引き続き進展させること」と発表しました。そして、「これらの目標を果たすため、私たちは、クラブ、地区、そしてロータリー財団の間の協力関係を築いていく必要があります。さらに、「健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する

ことを通じて、世界理解、親善、平和を達成する」という私たちの使命を共にする他団体とも協力していく機会をとらえることが必要です」と続けました。最後に「ロータリーの菌車を身につけた人々が自分のことを気遣ってくれる、自分の生活を変えるために手を差し伸べてくれる」ということを、できるだけ多くの人に知ってもらいたいと、私たちは望んでいます。ロータリー財団があるからこそ、それが可能だということを、私たちは知っているのです。力を合わせれば、きっとできます」と結びました。



次に、RI/USAID運営委員のF.ロン・デナム氏が「ロータリー財団と水」と題して、スピーチをしました。デナム氏は、家族のために毎日6キロの道のりを歩き、何往復もして水を運んでいるケニアのエリザベスという女性の話をしました。しかし、この水は安全なものではなく、家族は健康を害してしまいました。そこで、地元のロータリークラブが、この村の人々が「安全な水」にアクセスできるための活動を始めた事例を紹介しました。さらに、ナイロビ、ガーナ、ペナンなどの事例についても紹介し、「短期的プロジェクトから、長期的・大規模プロジェクトに重点を移したロータリーの「未来の夢」は、ロータリアンが取り組む人道的発展に実質的に大きな影響をもたらしていくための第一歩となります。水と衛生設備がなければ、6つの重点分野での成功はあり得ませんし、何事も不可能なのです。これは基本中の基本です。安全な水と衛生設備がなければ、母子の健康は夢でしかありません。母親と娘たちが水運びに何時間も費やしている限り、子供たちが適切な教育を受けることはできないでしょう。人々に時間とエネルギーがなければ、経済活動が活発になることはありません。そして、ごく基本的なリソースである水と衛生設備がない限り、平和と調和が訪れることもないのです。驚くべきことに、世界人口の80%にあたる人々は、安全な水が利用できません。水もないのに、どうやって平和がもたらされるのでしょうか。地区ガバナー・エレクトの皆さま、この「未来の夢」を、皆さま自身や皆さまのクラブが、より大きく、豊かで、大胆に活動する上での指針としてください。水の供給が、すべての問題を解決するわけではありません。それは、地域の社会的、経済的基盤を変える方法の一つです。ただ単に、井戸を掘ったり、ろ過器を設置したり、トイレを作るだけのプロジェクトではなく、健康、教育、識字、貧困の緩和や経済の安定といった人道的成果を目指すことが必要です。そして、それらのプロジェクトに着手する際には、水と衛生設備に関するロータリアン行動グループに相談してみてください。そうすれば、本当に持続可能で、今後何年にもわたって命の水を地域の人々に提供できるようなプロジェクトにするにはどうすればよいか、きっと分かります。また、継続的にプロジェクトの監督を行い、その成果を測っていく方法も知ることができます。この「未来の夢」の考え方を理解していただければ、従来ロータリーが行ってきた1年単位のプロジェクトでは長期的成功は難しいということがお分かりいただけるでしょう」と述べました。

デナム氏は「真の成功の究極的な目安は、安全な水と衛生設備を利用できるという当然の権利を得ることによって生活が一変したエリザベスや、その子供たちのような人々を、何人助けることができたかということです。人々の生活をより良くするという榮譽に恵まれている私たちは、謙虚にならざるを得ません。私たちの多くにとって大きな意味のあるこの榮譽こそが、基本的かつ否定できないロータリーの意義なのです」と結びました。



ロータリージャパンから転載

国際ロータリーは、2011年7月1日から2014年6月30日にかけて、4つの新しい試験的プログラムを実施します。このたびは、参加クラブの募集についてご連絡させていただいております。

RI長期計画の「クラブの刷新性と柔軟性を育てる」という目標を支えるため、RI理事会は、会員種類とクラブ運営のほかの選択肢を与えることによって、会員の活動と参加、会員増強と維持、会員の多様性、社会奉仕／国際奉仕の増加、ロータリー財団への支援の増加、全体的なクラブの効率に対してどのような影響があるかを調べ、検討したいと考えています。以下に、各試験的プログラムの概要に記載いたしました。また、各プログラムの詳細、選定の指針、参加条件、実行計画を記した概要資料を添付いたしましたのでご覧ください。

<http://www.rotary.org/ja/members/generalinformation/pilots/pages/ridefault.aspx>

### 衛星クラブ試験的プログラム

参加クラブは、週のあいだに異なる曜日、場所、時間を設定して、1週間に複数の例会を行うことができます。

### 法人会員試験的プログラム

定められた入会承認手続きを通じて、クラブの所在地域にある法人や会社がロータリー・クラブの会員となることを認めるものです。これらの法人や会社は、クラブ例会に出席する人物を最高4名まで指定し、プロジェクトでの奉仕やクラブの事柄に関する投票を行い、クラブ役員やクラブ委員会の任に当たることができます。

### 準会員試験的プログラム

準会員となる人は、一定期間内に正会員になることを視野に、ロータリー・クラブや会員と親交を結び、プログラムやプロジェクトに参加し、クラブ会員にどのようなことが期待されるのかを知ることができます。

### 革新性と柔軟性のあるロータリー・クラブ試験的プログラム

参加クラブは、クラブ会員と地域のニーズに適したクラブ運営を独自に決定することができます。クラブは標準ロータリー・クラブ定款とロータリー・クラブ細則に変更を加える許可が与えられますが、RI人頭分担金の要件に変更を加えることはできません。

参加クラブ数は、各プログラムにつき200クラブまでとされ、34のゾーンから公平に選ばれます。参加を希望するクラブは、2009年6月30日以前に加盟している必要があります。

試験的プログラムへの参加申請書の提出締切日は、2011年4月1日です。参加クラブは、2011年5月1日までに選ばれます。選出されたクラブは、2011年5月31日までにクラブと地区役員に通知される予定です。

試験的プログラムに参加するには、クラブはRIへの納入義務を果たしており、クラブ会員の3分の2の同意に加え、クラブ会長と会長エレクトの承認が必要となります。添付の試験プログラムの詳細と申請書式をご覧ください。ご質問がある場合は、クラブ・地区支援担当(日本事務局奉仕室)職員まででお問い合わせください。記入済みの申請書は、Eメール([ripilotprograms@rotary.org](mailto:ripilotprograms@rotary.org))またはファックス(1-847-556-2196)でお送りください。

ロータリーが今後も発展を続け、変化する世界における組織の未来を揺るぎないものとするよう、試験的プログラムへの参加をご検討いただけますことを願っております。

エド・フタ(布田)

国際ロータリー事務総長

1月22日 ロータリー財団 第3回  
国際親善奨学生オリエンテーション



1月30日  
青少年交換委員会オリエンテーション



# RLI パートI

2011年1月16日

りんくう国際物流センター



セッション1



ロータリーに於けるリーダーシップ

セッション2



クラブレベルを越えたロータリー

セッション3



会員組織と会員維持(その1・基礎編)

セッション4



ロータリー財団(その1・基礎編)

セッション5



米山記念奨学事業(その1・基礎編)

セッション6



ロータリーの効果的な奉仕プロジェクト

## 2010-2011年度 2月行事予定表

2月 世界理解月間 (World Understanding Month)			
1日	(火)		
2日	(水)		
3日	(木)		
4日	(金)		
5日	(土)	I M1組 田辺はまゆうRC	コガノイバイホテル
6日	(日)		
7日	(月)	ガバナー補佐会議	ベストウエスタンホテル関西
8日	(火)		
9日	(水)		
10日	(木)		
11日	(金)	米山記念奨学委員会修了証書授与式ならびに歓送会 ローターアクト全国研修会	ホテルサンルート関空 大宮
12日	(土)	↓ 2640RLIDL研修会	↓ りんくう国際物流センター
13日	(日)	御坊東RC創立15周年記念式典	紀州南部ロイヤルホテル
14日	(月)		
15日	(火)		
16日	(水)		
17日	(木)	堺RC創立60周年記念式典	リーガロイヤルホテル堺
18日	(金)		
19日	(土)	I M5組 美原RC	美原複合シビック施設
20日	(日)	2640RLIパートII インターアクト海外研修報告会 開智(和歌山南RC)・高野山(高野山RC・橋本RC)	りんくう国際物流センター 開智高校
21日	(月)		
22日	(火)		
23日	(水)		
24日	(木)	WCS海外視察	フィリピン共和国 セブ島
25日	(金)		
26日	(土)		
27日	(日)	↓	↓
28日	(月)		

# 2010年12月 出席報告

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	12月 出席率	平均 出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	12月 出席率	平均 出席率
	10.7.1	12月末	12月	累計	12月	累計					10.7.1	12月末	12月	累計	12月	累計			
有田	37	37	0	2	2	2	3	92.20	93.52	大阪狭山	5	5	0	0	0	0	3	93.30	95.65
有田南	31	33	0	2	0	0	3	94.45	96.64	りんくう泉佐野	26	26	0	1	1	1	4	71.71	76.49
有田2000	15	14	0	0	1	1	4	92.85	85.88	堺	73	71	0	1	1	3	3	91.95	87.26
藤井寺しゅら	14	11	0	1	3	3	4	78.60	83.10	堺東	35	33	0	0	1	2	3	94.85	95.63
御坊	52	52	0	0	0	0	4	88.99	87.67	堺北西南西	19	19	0	0	0	0	3	83.33	81.94
御坊東	15	15	0	0	0	0	4	93.33	89.61	堺泉ヶ丘	20	21	0	1	0	0	3	87.30	92.13
御坊南	23	26	0	3	0	0	3	89.33	88.40	堺北	30	33	0	5	1	2	3	83.33	86.92
羽曳野	14	14	0	0	0	0	4	92.73	93.73	堺南	27	25	0	0	2	2	3	81.70	81.65
羽衣	17	15	0	0	0	2	3	86.60	89.50	堺中	17	18	0	1	0	0	4	79.69	79.06
橋本	53	51	0	1	0	3	3	92.32	91.34	堺西	18	17	0	0	1	1	3	88.89	92.59
橋本紀ノ川	17	14	0	0	0	3	3	95.24	90.11	堺おおいずみ	33	32	0	0	1	1	4	84.85	82.17
岩出	27	27	0	0	0	0	3	96.30	93.50	堺フェニックス	32	33	0	4	0	3	3	98.00	98.00
和泉	35	33	0	0	1	2	4	82.09	80.23	堺清陵	18	19	0	3	2	2	3	90.00	88.33
和泉南	26	26	0	0	0	0	3	57.69	57.69	堺東南	11	11	0	0	0	0	3	100.00	97.97
泉大津	49	51	0	4	2	2	4	84.09	84.96	堺フラワー	-	22	1	22	0	0	4	96.00	94.00
泉佐野	35	35	0	1	0	0	4	91.70	92.59	泉南	17	17	0	0	0	0	3	81.25	81.31
海南	41	41	0	1	0	1	4	71.71	73.89	新宮	60	62	0	2	0	0	4	86.70	81.01
海南東	68	65	0	0	2	3	3	80.59	80.83	白浜	14	14	0	0	0	0	3	97.44	97.29
海南西	20	20	1	1	1	1	3	83.96	84.96	太子	14	13	0	0	1	1	3	69.20	70.13
貝塚	19	18	0	0	1	1	3	96.29	92.90	高石	25	29	1	4	0	0	3	72.15	72.79
貝塚コスモス	20	19	0	0	0	1	4	87.56	90.80	高師浜	18	17	0	0	1	1	3	86.08	84.14
関西国際空港	19	25	0	6	0	0	3	80.00	74.57	田辺	89	87	0	0	0	2	3	87.23	87.02
河内長野	34	36	0	3	0	1	3	76.40	81.00	田辺はまゆう	33	34	0	1	0	0	3	92.16	90.04
河内長野東	28	29	0	1	0	0	4	100.00	97.85	田辺東	51	52	0	1	0	0	3	81.33	86.29
岸和田	39	37	0	0	0	2	4	94.28	93.77	富田林	34	38	2	4	0	0	3	80.32	84.29
岸和田東	52	54	0	2	0	0	4	90.07	92.84	富田林南	18	18	0	0	0	0	4	73.44	80.47
岸和田北	17	16	0	0	0	1	4	100.00	100.00	和歌山	65	66	0	3	2	2	3	91.59	87.69
岸和田南	21	21	1	1	1	1	3	93.16	87.08	和歌山アゼリア	44	43	0	0	1	1	3	68.93	79.48
粉河	22	21	0	0	1	1	4	100.00	100.00	和歌山東	49	50	1	1	0	0	3	94.80	93.23
高野山	23	23	0	0	0	0	4	94.75	96.53	和歌山城南	37	38	1	2	1	1	4	87.94	89.30
串本	13	12	0	0	1	1	3	71.79	65.65	和歌山北	50	49	0	0	1	1	5	83.10	82.19
松原	32	32	0	1	1	1	4	89.25	86.77	和歌山南	89	94	0	6	0	1	4	82.30	87.20
松原中	19	21	2	2	0	0	4	87.30	85.71	和歌山中	28	30	0	2	0	0	4	78.40	90.22
美原	23	20	0	2	2	5	4	95.50	94.30	和歌山西	20	22	0	4	2	2	4	91.30	92.59
那智勝浦	19	20	1	1	0	0	3	61.89	69.76	和歌山東南	46	50	0	6	2	2	4	83.99	87.29
大阪金剛	28	28	0	2	1	2	3	86.06	87.16	和歌山サンライズ	25	10	0	1	16	16	3	98.55	97.79

クラブ	7月1日クラブ会員数		12月末クラブ会員数		12月平均 出席率	入会		退会	
	男性	女性	男性	女性		12月	累計	12月	累計
72	2066	154	2067	163	86.70	11	112	57	100
	2220		2230						

※2010年6月末 会員数2,218名  
 ※堺フラワーRC 10月14日RI加盟認証  
 ※阪南RC 11月2日 RI脱退



## 2010-2011年度ガバナー事務所

〒590-0021 大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町1丁1番16 C棟14号  
ガバナー事務所 (7月1日より)

TEL : 072-224-2640

FAX : 072-224-2650

E-mail : [info@rid2640yoneda-g.org](mailto:info@rid2640yoneda-g.org)

HPアドレス : <http://www.rid2640g.org> (継続)